

(機能説明)	
1. 登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力結果をデータベースに登録します。</li> </ul>
2. 登録データ呼出	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回入力分を呼出したい場合又は修正したい場合に使用します。前回入力した入力結果の年度を入力することによって、データベースから登録済みの入力結果を再表示できます。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>不具合入力</b> <span style="float: right;">✕</span></p> <p>呼び出したい不具合を「整数」で入力して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="text-align: right;"> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>西暦入力</b> <span style="float: right;">✕</span></p> <p>読み込むデータの年度を「西暦」で入力して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-bottom: 5px; display: flex; align-items: center;"> <span style="margin-left: 5px;">2011</span> </div> <div style="text-align: right;"> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </div> </div> <p>※必要項目が類似している場合に、その他の不具合の入力結果をコピーすることもできます。</p>
3. 印刷	<ul style="list-style-type: none"> <li>カルテシート-3を印刷します。</li> </ul>
4. 戻る	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備別機能診断準備シートに戻ります。</li> </ul>
(その他機能)	
判定事例ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要度 A を判定するための、判定事例を表示します。</li> </ul>

⑪ カルテシート-3の評価結果を整理し、ソート機能による並び替え

設備別機能評価・診断

設備別機能診断準備シート画面

②

● 設備別機能診断準備シート(※カルテシート3作成用)

不具合	系統名	設備名称	種別	設備NO	原因設備・資機材・パーツ名	不具合の理由	改善必要度
0001	第1浄水場系①	自動除塵機	機電設備	NO.001	取水堰 自動除塵機(経年劣化 No.3:1点)	時々動作不良、交換部品製造中止	59.2
0002	第1浄水場系①	汲井戸	土木構造物	NO.002	汲井戸 クリプト対照平流地(水量 No.2:1点)	指標番検出のおそれ、クリプト対策設置なし	64
0003	第1浄水場系①	沈砂池	土木構造物	NO.003	沈砂池 予備池なし(水量・水圧 No.2:0点)	予備池ノリイの量が少なく、付着物の掃きが困難	29.6
0004	第1浄水場系①	着水井	管路	NO.004	着水井 流入管(経年劣化 No.1:1点)	流入管の躯体接続部で少量の漏水	21.6
0005	第1浄水場系①	薬注設備	機電設備	NO.005	薬注設備 耐薬剤注入設備(水量 No.1:1点)	1~2階/床程度の高圧時に薬液剤の注入量が不足する	21.6
0006	第1浄水場系①	フロック形成池	機電設備	NO.006	蓄電池 攪拌機(水量 No.1:1点)	攪拌機の電力低下による攪拌強度不足	
0007	第1浄水場系①	薬品沈殿池	土木構造物	NO.007	横流式沈殿池(水量 No.1:1点)	高濃度汚泥による溜りのキャリーオーバー	
0008	第1浄水場系①	急流ろ過池	土木構造物	NO.008	急流ろ過池 ら過砂・集水装置(水量 No.1:1点)	ろ過砂・支持部の劣化による集水装置の漏れ(目視)	
0009	第1浄水場系①	緩速ろ過池	土木構造物	NO.009	緩速ろ過池 経年劣化(水量 No.1:0点)	経年のひび割れから漏水あり(目視で箇所)	
0010	第1浄水場系①	緩ろ過設備	機電設備	NO.010	緩ろ過設備 臭気対策AL(水量 No.2:1点)	臭気のカビ臭発生に対応できない	
0011	第1浄水場系①	浄水池	土木構造物	NO.011	浄水池 短体(地震・危機管理 No.1:1点)	耐震性不評(耐震診断未実施)	
0012	第1浄水場系①	消毒設備	土木構造物	NO.012	消毒設備 耐凍害なし(地震・危機管理 No.3:0点)	防凍堤未設置	
0013	第1浄水場系①	曝気設備	機電設備	NO.013	曝気設備 曝気装置(水量・水圧 No.4:1点)	1/3目詰まりによる曝気量の低下、曝気効率の低下	
0014	第1浄水場系①	未活性炭吸着器	機電設備	NO.014	活性炭投入装置 投量装置(水量・水量 No.4:0点)	活性炭の劣化による投量の低下、活性炭の劣化	
0015	第1浄水場系①	活性炭吸着器	機電設備	NO.015	活性炭吸着器設備 活性炭層(水量 No.3:1点)	活性炭の劣化による活性炭層の劣化	
0016	第1浄水場系①	オゾン処理設備	機電設備	NO.016	7F処理設備 オゾン濃度計(危険管理 No.2:1点)	オゾン濃度計感度不良	
0017	第1浄水場系①	生物処理設備	機電設備	NO.017	生物処理設備 曝気設備(水量・水圧 No.3:1点)	排気口からの排気が困難な場合がある	
0018	第1浄水場系①	排水池	機電設備	NO.018	排水池 送水ポンプ(水量 No.2:1点)	排水ポンプの送水能力不足、送水ポンプの送水	
0019	第1浄水場系①	濃縮槽	機電設備	NO.019	濃縮槽 上澄水排出設備(水量 No.3:1点)	固定値による上澄水排出で、量の調整ができない	

<Menu>

結果表示 ※改善必要度を表示します。

※機能評価準備シートに戻ります。

戻る ※設備種類・設備数入力画面に戻ります。

※評価を開始する番号を整数で入力して下さい。

不具合-0000

診断開始 ※カルテシート3を作成します。

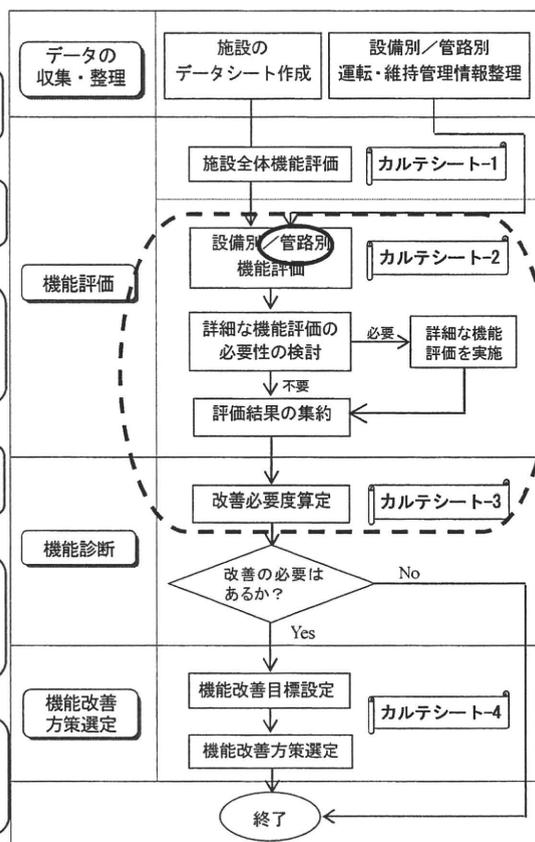
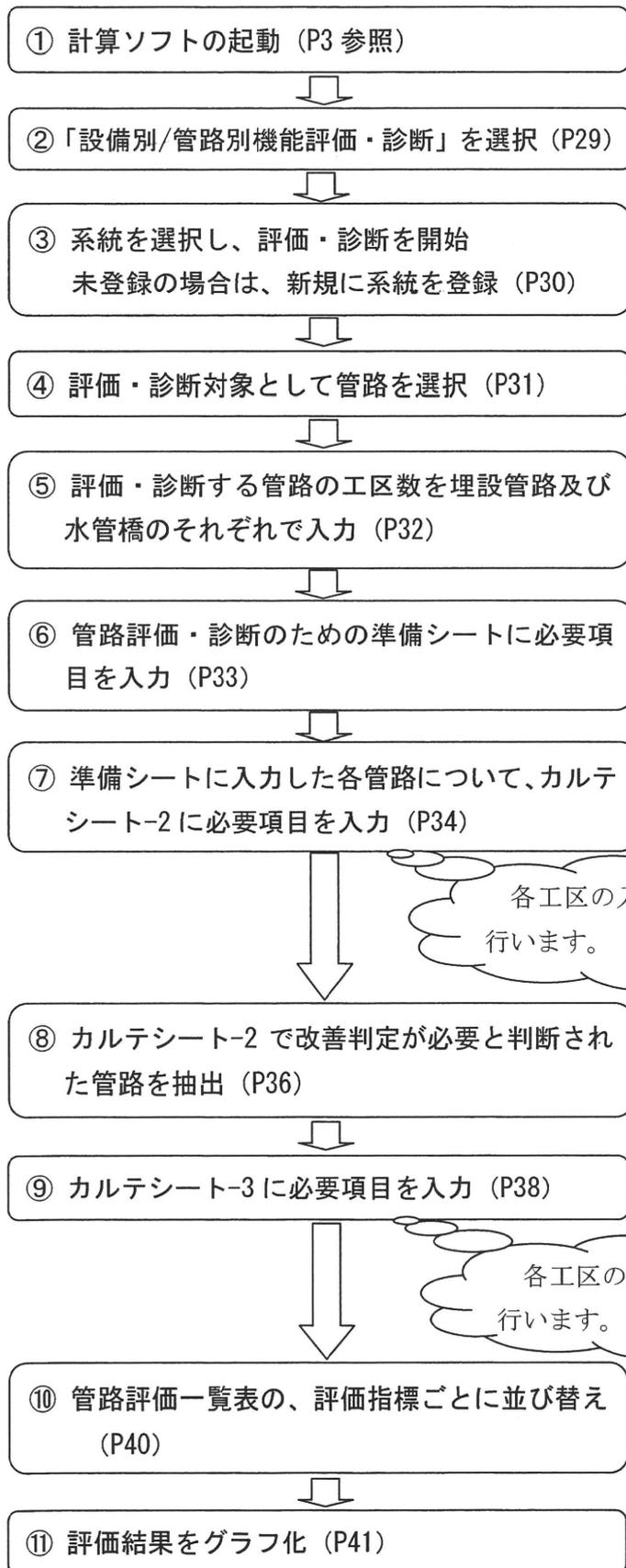
①

操作手順

- ① 「結果表示」をクリックします。  
 ※「結果表示」により、カルテシート-3の入力結果を表示又は更新します。
- ② 「昇」、「降」ボタンをクリックします。  
 ※「昇」、「降」により、各項目でソートすることができます。

※改善必要度と改善の優先順位については、「水道施設機能診断マニュアル」の P112 に記載されています。

### 3-2. 管路別機能評価・診断



各工区の入力を繰り返  
行います。

各工区の入力を繰り返  
行います。

- ① 計算ソフトの起動は P3 参照  
 ② 「設備別/管路別機能評価・診断」を選択

管路別機能評価・診断	
メインメニュー画面	
操作手順	<p>① システムを起動すると、上のメインメニュー画面が自動で表示されます。</p> <p>② 「設備別/管路別機能評価・診断」をクリックします。                  ※系統選択画面へ移動</p>
(機能説明)	
1. 全体機能評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体機能評価を開始します。</li> <li>※系統選択画面へ移動します。</li> </ul>
2. 設備別/管路別 機能評価・診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備別/管路別機能評価・診断を開始します。</li> <li>※系統選択画面へ移動します。</li> </ul>
3. 終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保存して終了します。</li> <li>※「変更を保存しますか？」のメッセージが表示されます。</li> <li>・ 変更がなければ、そのままシステムを終了します。</li> <li>※ エクセルブックの終了</li> </ul>

※管路別機能評価及び機能診断の詳細は、「水道施設機能診断マニュアル」の P85～、P120～に記載されています。

③ 系統を選択し、評価・診断を開始、未登録の場合は、新規に系統を登録

管路別機能評価・診断	
系統選択画面	
操作手順	<p>① 系統リストから診断対象の系統を選択し、評価・診断開始をクリックします。</p> <p>※「評価・診断対象選択画面」に移動します。</p> <p>② 系統リストに系統を追加するときは「※新規系統の作成・追加」のテキストボックスに系統名記入し、「追加」をクリックします。</p> <p><b>(※初回は入力必須)</b></p>
(機能説明)	
1. 評価・診断開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択した系統の設備別／管路別機能評価を開始します。</li> <li>※「〇〇系統の診断を開始します」のメッセージが表示されます。</li> </ul>
2. 戻る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインメニュー画面に戻ります。</li> </ul>
3. 編集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統名を編集できます。</li> </ul>
4. 追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規系統の作成・追加に入力した系統を系統リストに追加します。</li> <li>既に同じ名称の系統がある場合は追加できません。</li> <li>※「その系統は既に登録されています」のメッセージが表示されます。</li> </ul>

④ 評価・診断対象として管路を選択

管路別機能評価・診断	
評価・診断対象 選択画面	
操作手順	<p>①管路別のラジオボタンにチェックを入れ、「選択」をクリックします。</p> <p>※ラジオボタンのチェック (画面中の「○」をクリックします。選択肢のうち1つのみ選択可能)</p>
(機能説明)	
1. 選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備数又は管路工区数の入力画面へ移動します。</li> <li>○設備別</li> <li>○管路別</li> </ul>
2. 戻る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 系統選択画面へ戻ります</li> </ul>

⑤ 評価・診断する管路の工区数を埋設管路及び水管橋のそれぞれで入力

管路別機能評価・診断	
管路工区数の 入力画面	
操作手順	<p>① 管路の評価・診断工区数及び水管橋の評価・診断工区数をそれぞれ入力します。                      ※半角数字で直接入力するか、スピンドットで数値を加減します。                      ※スピンドット▲ (+1)、▼ (-1)、デフォルト値 (0)</p> <p>② 新規の場合に選択します。</p> <p>③ 評価・診断する工区番号 (最小値) を入力します。                      (この作業の注意点である P19 の (注) を必読してください)</p> <p>④ 登録済みの入力結果を編集します。</p>
(機能説明)	
1. 新規管路追加	・ 管路別機能評価準備シートへ移動し、入力した工区数に応じて評価シートを作成します。 ※管路別機能評価準備シートに入力した工区数分だけ、行が追加されます。
2. 登録管路編集	・ 管路別機能評価準備シートへ移動し、登録済みの入力結果を編集します。
3. 戻る	・ 評価・診断対象施設選択画面へ戻ります。

※管路別機能評価の実施内容は、「水道施設機能診断マニュアル」の P86～に記載されています。

---

---

ます。

⑥ 管路評価・診断のための準備シートに必要な項目を入力

### 管路別機能評価・診断

#### 管路別機能評価準備シート入力画面



②



①

● 管路別機能評価準備シート (※ カルテシート-2 用)    別表(耐震)    別表(老朽)    選択欄    入力欄    2011/3/28

シート 管種	系統名	管路形態 リストから選択	耐震性 判定点	老朽度 判定点	台帳No.	用途区分	管種	継手	口径	経過年数
			別表より判断	別表より判断	任意	任意	任意	任意	任意	
工区-001	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-002	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-003	第1浄水場系①	埋設管	0	4	国道1号線-1	配水管	ACP	不明	300	30~40
工区-004	第1浄水場系①	埋設管	0	4	国道1号線-1	配水管	ACP	不明	300	30~41
工区-005	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-006	第1浄水場系①	埋設管	2	1	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	20~30
工区-007	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	送水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-008	第1浄水場系①	埋設管	2	3	国道1号線-1	送水管	CIP	A形	300	20~30
工区-009	第1浄水場系①	埋設管	3	3	国道1号線-1	送水管	CIP	不明	300	20~31
工区-010	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	送水管	DCIP	不明	300	10~20
工区-011	第1浄水場系①	埋設管	2	4	国道1号線-1	送水管	ACP	不明	300	30~40
工区-012	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	送水管	DCIP	不明	300	10~20
工区-013	第1浄水場系①	水管橋	2	3	国道1号線-1	配水管	CIP	不明	150	20~30
工区-014	第1浄水場系①	水管橋	2	1	国道1号線-1	配水管	DCIP	不明	150	10~20
予備種										
記入例	浄水場系研-1	埋設管	0	3	国道1号線-1	送水管	DCIP	不明	200	10~20

<Menu>

結果一覧 ※評価結果一覧シートを表示します。

戻る ※メインメニュー画面に戻ります。

※ 評価を開始する工区を整数で入力して下さい。

工区-001

評価開始 ※管路評価シート-2を作成します。



③

**操作手順**

- ① 分かる範囲で台帳 No.等の任意データを入力します。
- ② 別表を利用し、「耐震性判定点」、「老朽度判定点」を入力します。
- ③ □枠にカルテシート-2 の入力を行う工区 No. (整数) を入力し、「評価開始」をクリックします。

※ 「評価開始」により、カルテシート-2 の入力画面に移動します。

(機能説明)

1. 結果一覧

2. 戻る

- ・ 評価・診断一覧表に移動します。
- ・ メインメニュー画面に戻ります。

(その他機能)

ソートボタン

別表ボタン

- ・ 工区リストを昇順に並び替えることができます。
- ・ 耐震性及び老朽度の表を表示します。

⑦ 準備シートに入力した各管路について、カルテシート-2に必要項目を入力

**管路別機能評価・診断**

**カルテシート-2 入力画面**



シート名: 管路別機能評価 <埋設管> | 更新履歴 | 入力履歴 | 配水管

入力:

工区名:

担当者:

年月日:

台帳No:

系統:

管種:

口径:

経過年度:

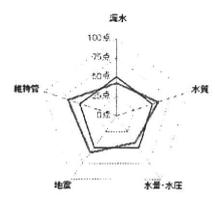
系統ID:

Pipe ID:

分類	No	設問	評価区分	判定点	20年度点への換算	評価点(100点)
漏水	A	管(本体・継手)の漏水事故及び漏水修繕件数は? (第三者による破壊等の場合は除く)	<input type="radio"/> : 1度もない <input type="radio"/> : 記録が残っていないが、分かっている範囲では事故はない <input type="radio"/> : 1度ある <input type="radio"/> : 複数ある	1点	17点	42点
	B.1	布設してから経過年数は?	<input type="radio"/> : 20年未満 <input type="radio"/> : 20~39年、または「不明」 <input type="radio"/> : 40年以上	2点		
	B.2	金属管の場合は外面腐食対策、又は樹脂管の場合は必要な外面腐食対策(砕石等の突起による管種破壊への対策)を行っているか?	<input type="radio"/> : 区間内すべて対策済み(地及リフ・外面塗覆・電気防食等の高効率対策等) <input type="radio"/> : 一部区間で対策がされていない、又は【不明/該当なしの場合】 <input type="radio"/> : 全く対策していない	1点		
	B.3	外部衝撃や埋設深さ等の変更はないか? (管の全長に対する割合は、埋設物(TD)等の外部衝撃に対応しているかを、土間・1層土や基礎体取付等の不平等下を意味し、急所、転輸・明暗排水等により地盤沈下等の対応がされているか。)	<input type="radio"/> : ほとんど影響なし <input type="radio"/> : 一部影響の恐れがある、又は【不明/該当なしの場合】 <input type="radio"/> : 影響の恐れが大きい	1点	25点	
	B.4	特別な事項 test	<input type="radio"/> : 良い (ほとんど問題なし) <input type="radio"/> : 普通 (問題が少なく、大きな問題なし) <input type="radio"/> : 悪い (問題が多い)	0点		
水質	A	この区間の管路が原因で非水・濁水の発生、突発的(異物・シルコートの混入、有機浮游物等による異臭味などの事故の発生があるか?	<input type="radio"/> : まったくない <input type="radio"/> : 記録が残っていないが、分かっている範囲で事故はない <input type="radio"/> : 1度ある <input type="radio"/> : 複数ある	2点	33点	
	B.1	他の区間と比べ、サブコブ等による残留塩素消費は継続に大きくないか?	<input type="radio"/> : まったく問題ない <input type="radio"/> : ある時期(季節時や昼夜の差)か一部の箇所(露出管等)で問題がある、又は【不明/該当なしの場合】	1点		

(Menu)

※入力データをデータベースに登録します。  
 ※登録済みのデータを呼び出します。  
 ※評価する工区を変更します。  
 ※シートを印刷します。  
 ※機能評価準備シートに戻ります。



(備考欄)  
test

③

⑥

④

⑤

②

操作手順

- ① 必要項目を入力します。
- ② 備考欄に書きとめておきたいことを入力します。
- ③ <Menu> の「登録」ボタンをクリックします。  
※「登録」によりデータベースに入力結果が登録されます。
- ④ <Menu> の「工区変更」ボタンをクリックします。  
※「工区変更」により、評価する工区を変更できます。  
※「工区変更」に対応できるのは、同種の管路のみです。(埋設管路を開いている場合は、埋設管路の工区のみ変更できます。)
- ⑤ 入力作業終了後、<Menu> の「戻る」ボタンをクリックします。  
※「戻る」により、機能評価準備シートに戻るため、水管橋についても、①~⑤の作業を繰り返します。  
<登録済みの入力結果を編集する場合>
- ⑥ <Menu> の「登録データ呼出」ボタンをクリックします。

(機能説明)	
1. 登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力結果をデータベースに登録します。</li> </ul>
2. 登録データ呼出	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回入力分を呼出したい場合又は修正したい場合に使用します。前回入力した入力結果の年度を入力することによって、データベースから登録済みの入力結果を再表示できます。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: right; margin: 0;">X</p> <p>工区入力</p> <p>呼び出したい工区のNoを「整数」で入力して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <p style="text-align: right; margin: 0;">OK キャンセル</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: right; margin: 0;">X</p> <p>西暦入力</p> <p>読み込むデータの年度を「西暦」で入力して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0; text-align: center;">2011</div> <p style="text-align: right; margin: 0;">OK キャンセル</p> </div> <p>※必要項目が類似している場合に、その他の工区の入力結果をコピーすることもできますが以下の点に注意が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セル「J28」及びセル「J44」がコピーされますので、両セルの値を対象工区の情報に書き換えが必要です。(直接入力)</li> </ul>
3. 戻る	<ul style="list-style-type: none"> <li>管路別機能評価準備シートに戻ります。</li> </ul>
4. 印刷	<ul style="list-style-type: none"> <li>カルテシート-2 を印刷します。</li> </ul>
5. 工区変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価する工区を変更します。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: right; margin: 0;">X</p> <p>入力</p> <p>評価を開始する工区を「整数」で入力して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <p style="text-align: right; margin: 0;">OK キャンセル</p> </div>
(その他機能)	
Del ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオボタンのチェックを削除できます。</li> </ul>

⑧ カルテシート-2 で改善判定が必要と判断された管路を抽出

管路別機能評価・診断

管路別機能評価準備シート入力画面

● 管路別機能評価準備シート (※ カルテシート2用) (別表(耐震) 別表(老朽) 選択欄 | 入力欄 | 2011/3/28

シート 管路	系統名	管路形態 リストから選択	耐震性 判定点 <sup>※</sup> 別表より判断	老朽度 判定点 <sup>※</sup> 別表より判断	台帳No 任意	用途区分 任意	管種 任意	継手 任意	口径 任意	経過年数 任意
工区-001	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-002	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-003	第1浄水場系①	埋設管	0	4	国道1号線-1	配水管	ACP	不明	300	30~40
工区-004	第1浄水場系①	埋設管	0	4	国道1号線-1	配水管	ACP	不明	300	30~41
工区-005	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-006	第1浄水場系①	埋設管	2	1	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	20~30
工区-007	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	送水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-008	第1浄水場系①	埋設管	2	3	国道1号線-1	送水管	CIP	A形	300	20~30
工区-009	第1浄水場系①	埋設管	3	3	国道1号線-1	送水管	CIP	不明	300	20~31
工区-010	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	送水管	DCIP	不明	300	10~20
工区-011	第1浄水場系①	埋設管	2	4	国道1号線-1	送水管	ACP	不明	300	30~40
工区-012	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	送水管	DCIP	不明	300	10~20
工区-013	第1浄水場系①	水管橋	2	3	国道1号線-1	配水管	CIP	不明	150	20~30
工区-014	第1浄水場系①	水管橋	2	1	国道1号線-1	配水管	DCIP	不明	150	10~20
予備欄										
記入例	浄水場系統-1	埋設管	0	3	国道1号線-1	送水管	DCIP	不明	200	10~20

<Menu>  
結果一覧 ※評価結果一覧シートを表示します。  
戻る ※メインメニュー画面に戻ります。

※評価を開始する工区を整数で入力して下さい。  
工区-001  
評価開始 ※管路評価シート2を作成します。



管路別評価・診断一覧シート画面

● 管路別評価・診断一覧表 2011/3/28

管路	系統名	管路形態	入力判定		漏水		水質		水量・水圧		地震		維持管理		改善判定 1:有, 0:無	改善必要度 シート結果
			準備シートより	シート2	シート2結果											
工区-014	第1浄水場系①	水管橋	完		53	92	71	58	58	0						
工区-013	第1浄水場系①	水管橋	完	完	17	41	42	33	58	1					86	
工区-012	第1浄水場系①	埋設管	完		53	100	100	83	92	0						
工区-011	第1浄水場系①	埋設管	完	完	41	50	30	50	33	1					76	
工区-010	第1浄水場系①	埋設管	完		83	100	100	96	83	0						
工区-009	第1浄水場系①	埋設管	完	完	34	17	42	50	34	1					73	
工区-008	第1浄水場系①	埋設管	完	完	41	50	58	41	41	1					63	
工区-007	第1浄水場系①	埋設管	完		100	100	100	83	100	0						
工区-006	第1浄水場系①	埋設管	完	完	56	75	88	50	56	1					35	
工区-005	第1浄水場系①	埋設管	完		75	83	100	86	66	0						
工区-004	第1浄水場系①	埋設管	完	完	25	17	30	25	17	1					80	
工区-003	第1浄水場系①	埋設管	完	完	42	17	46	17	75	1					82	
工区-002	第1浄水場系①	埋設管	完	完	42	58	42	36	66	1					66	
工区-001	第1浄水場系①	埋設管	完	完	42	58	42	38	66	1					66	
記入例	浄水場系統-1	埋設管	完	未	50	80	70	50	30	1					40	
予備欄																

<Menu>  
結果表示 ※評価結果を表示します。  
グラフ作成 ※グラフを作成します。  
戻る ※機能評価準備シートに戻ります。

NO.001  
診断開始 ※管路評価シート3を作成します。



※カルテシート-2 のまとめ方の例が、「水道施設機能診断マニュアル」の P100～に記載されています。

※管路別機能診断の実施手順等は、「水道施設機能診断マニュアル」の P120～に記載されています。

<p>操作手順</p>	<p>① 「結果一覧」をクリックします。  ※ 「結果一覧」により、評価・診断一覧表画面に移動します。</p> <p>② 「結果表示」をクリックします。  ※ 「結果表示」により、評価・診断一覧表が表示又は更新されます。</p> <p>③ 評価・診断一覧表の改善判定を確認し、カルテシート-3を作成する工区を判断します。  ※ 「1：有」：カルテシート-3の作成が必要です（改善必要度の算定）。</p> <p>④ □枠にカルテシート-3の入力を行う工区 No.（整数）を入力し、「診断開始」をクリックします。  ※ 「診断開始」により。カルテシート-3の入力画面に移動します。</p>
<p>（機能説明）</p>	
<p>1. 結果表示</p>	<p>・カルテシート-2 及びカルテシート-3 の評価・診断結果を表示又は更新します。</p>
<p>2. 戻る</p>	<p>・管路別機能評価準備シートに戻ります。</p>

⑨ カルテシート-3 に必要項目を入力

管路別機能評価・診断

カルテシート-3 入力画面



● カルテシート-3 改善必要度評価 <埋設管> 選択欄 入力欄 配水先

入力  完

工区名:	工区-001	系統:	第1清水場系①	系統ID:	01
担当者:	JWRC	管種:	DCIP(K形)	Pipe ID:	00001
年月日:	2011/1/31	口径:	φ300		
台帳No.:	国道1号線-1	経過年度:	10~20		

分類	No.	判定項目	判定区分	判定点	加重合計 (0/50点)	改善必要度 (1/100点)
評価 基準 動 向 点 よ り 判 断 する 能		カルテシート-2において重要視している分類	<input type="checkbox"/> 濁水 (42点) <input type="checkbox"/> 水質 (58点) <input type="checkbox"/> 水量・水圧 (42点) <input type="checkbox"/> 地震 (58点)	3点 0点 1点 0点	25点	
		影響範囲 (右側に記載の口径などによる判定方法のほか、管渠断面による方法、工場・店舗等の大口需要者があるときはその需要量の大きさによる方法などがある)	<input type="radio"/> 極大 (最大口径φ4.5以上) <input type="radio"/> 大 (最大口径φ3.5以上) <input type="radio"/> 中 (最大口径φ2.5以上)、または「不明」 <input type="radio"/> 小 (最大口径φ1.5以上) <input type="radio"/> 極小 (最大口径φ1.5未満)	3点		
改善 必要 度		年代管種別の経年化レベル	<input type="text" value="別表(老朽化影響)"/>	2点		
		社会的 該当する項目	<input type="checkbox"/> 代替機能がなく、運転停止した場合、影響が広範囲となる管路である <input type="checkbox"/> 域防災計画等に位置づけられた病院など、災害時の拠点医療施設への給水ルートである <input type="checkbox"/> 防災拠点・避難所・応急給水拠点など、震災後活動の拠点施設への給水ルートである <input type="checkbox"/> 政治行政機関への給水ルート <input type="checkbox"/> 経済機能(地域産業、大口需要者等)への給水ルート	2点	31点	56点
		影響 この区間において、漏水事故が発生した場合の 漏水率による影響 (道路交通、鉄道への影響等)	<input type="radio"/> 極大 (緊急輸送道路、河川堤防、道路橋脚や付近に地下施設) <input type="radio"/> 大 (広域的な主要道路に埋設) <input type="radio"/> 中 (上記以外の主要道路に埋設)、または「不明」 <input type="radio"/> 小 (一般の市町村に埋設) <input type="radio"/> 極小 (郊外の道路に埋設)	3点		
事 特 情 殊		特別な事項	<input type="radio"/> 極大 (改善必要度が極めて高い) <input type="radio"/> 大 (改善必要度が高い) <input type="radio"/> 中 (改善必要度が中程度) <input type="radio"/> 小 (改善必要度が低い) <input type="radio"/> 極小 (改善必要度が極めて低い)	-		

(備考欄)

<Menu>

※入力データをデータベースに登録します。  
 ※登録済みのデータを読み出します。  
 ※シートを印刷します。  
 ※評価・診断一覧シートに戻ります。

重み係数	給水影響	老朽化影響	社会的影響	漏水影響	特殊事情
	1.30	1.25	1.15	1.00	1.00






① 必要項目を入力します。

② 備考欄には書きとめておきたいことを入力します。

③ <Menu> の「登録」ボタンをクリックします。

※「登録」によりデータベースに入力結果が登録されます。

④ 入力作業終了後、<Menu> の「戻る」ボタンをクリックします。

※「戻る」により、管路別評価・診断一覧シート入力画面に戻るため、①～④の作業を繰り返し行います。

<登録済みの入力結果を編集する場合>

⑤ <Menu> の「登録データ呼出」ボタンをクリックします。

※カルテシート-3の入力では、「重み係数」を設定することが可能です。重み係数の初期値は「水道施設機能診断マニュアル」における設定となっています。この重み係数の設定は変更することができるので、変更する場合は「水道施設機能診断マニュアル」の P126 を参照し、本評価システムの重み係数の数値を直接入力で変更してください。

(機 能 説 明)	
1. 登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入力結果をデータベースに登録します。</li> </ul>
2. 登録データ呼出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回入力分を呼出したい場合又は修正したい場合に使用します。前回入力した入力結果の年度を入力することによって、データベースから登録済みの入力結果を再表示できます。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>工区入力</b> <span style="float: right;">✕</span></p> <p>呼び出したい工区のNoを「整数」で入力して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>西暦入力</b> <span style="float: right;">✕</span></p> <p>読み込むデータの年度を「西暦」で入力して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0; text-align: center;">2011</div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </div> </div> <p>※必要項目が類似している場合に、その他の工区の入力結果をコピーすることもできますが以下の点に注意が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セル「J16」がコピーされますので、セルの値を対象工区の情報に書き換えが必要です。(直接入力)</li> </ul>
3. 印刷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カルテシート-3 を印刷します。</li> </ul>
4. 戻る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路別評価・診断一覧シートに戻ります。</li> </ul>

⑩ 管路評価一覧表の、評価指標ごとに並び替え

管路別機能評価・診断

管路別評価・診断一覧シート画面

● 管路別評価・診断一覧表 2011/3/28

管路	系統名	管路形態	入力判定		漏水		水質		水量・水圧		地位		維持管理		改善判定		改善必要度	
			準備シートより	準備シートより	シート2	シート3	シート2結果	1:有, 0:無	シート3結果	シート3結果	シート3結果							
工区-014	第1浄水場系①	水管橋	完		83	92	71		58		58		0					
工区-013	第1浄水場系①	水管橋	完	完	17	41	42		33		58		1				86	
工区-012	第1浄水場系①	埋設管	完		83	100	100		83		92		0					
工区-011	第1浄水場系①	埋設管	完	完	41	50	30		50		33		1				76	
工区-010	第1浄水場系①	埋設管	完		83	100	100		86		23		0					
工区-009	第1浄水場系①	埋設管	完	完	34	17	42		50		34		1				73	
工区-008	第1浄水場系①	埋設管	完	完	41	50	56		41		41		1				63	
工区-007	第1浄水場系①	埋設管	完		100	100	100		83		100		0					
工区-006	第1浄水場系①	埋設管	完	完	66	75	86		50		58		1				35	
工区-005	第1浄水場系①	埋設管	完		75	83	100		86		86		0					
工区-004	第1浄水場系①	埋設管	完	完	25	17	30		25		17		1				80	
工区-003	第1浄水場系①	埋設管	完	完	42	17	46		17		75		1				82	
工区-002	第1浄水場系①	埋設管	完	完	42	58	42		58		86		1				66	
工区-001	第1浄水場系①	埋設管	完	完	42	58	42		58		56		1				66	
記入例	浄水場系統-1	埋設管	完	未	60	60	70		50		30		1				40	
予備欄																		

〈Menu〉

結果表示 ※評価結果を更新します。

グラフ作成 ※グラフを作成します。

戻る ※機能評価準備シートに戻ります。

---

NO.001

診断開始 ※管路評価シートを作成します。

操作手順

- ① 「昇」、「降」 ボタンをクリックします。
- ※ 「昇」、「降」により、各指標でソートすることができます。

※改善必要度と改善の優先順位については、「水道施設機能診断マニュアル」では P112 に記載されています。

⑪ 評価結果をグラフ化

管路別機能評価・診断

管路別評価・診断一覧シート画面

● 管路別評価・診断一覧表 2011/3/28

管種	系統名	管路形態	入力判定			漏水	水質	水量・水圧	地震	維持管理	改善判定	改善必要度
			シート2	シート3	シート2結果							
工区-014	第1浄水場系①	水管橋	完	完	83	92	71	58	58	0		
工区-013	第1浄水場系①	水管橋	完	完	17	41	42	33	58	1	86	
工区-012	第1浄水場系①	埋設管	完	完	83	100	100	83	92	0		
工区-011	第1浄水場系①	埋設管	完	完	41	50	30	50	33	1	76	
工区-010	第1浄水場系①	埋設管	完	完	83	100	100	66	83	0		
工区-009	第1浄水場系①	埋設管	完	完	34	17	42	50	34	1	73	
工区-008	第1浄水場系①	埋設管	完	完	41	50	58	41	41	1	63	
工区-007	第1浄水場系①	埋設管	完	完	100	100	100	83	100	0		
工区-006	第1浄水場系①	埋設管	完	完	66	75	88	50	58	1	35	
工区-005	第1浄水場系①	埋設管	完	完	75	83	100	66	86	0		
工区-004	第1浄水場系①	埋設管	完	完	25	17	30	25	17	1	80	
工区-003	第1浄水場系①	埋設管	完	完	42	17	46	17	75	1	82	
工区-002	第1浄水場系①	埋設管	完	完	42	58	42	58	58	1	66	
工区-001	第1浄水場系①	埋設管	完	完	42	58	42	58	56	1	66	
予備種	浄水場系①	埋設管	完	未	80	60	70	50	30	1	40	

<Menu>

結果表示 ※評価結果を更新します。

グラフ作成 ※グラフを作成します。

戻る ※機能評価準備シートに戻ります。

---

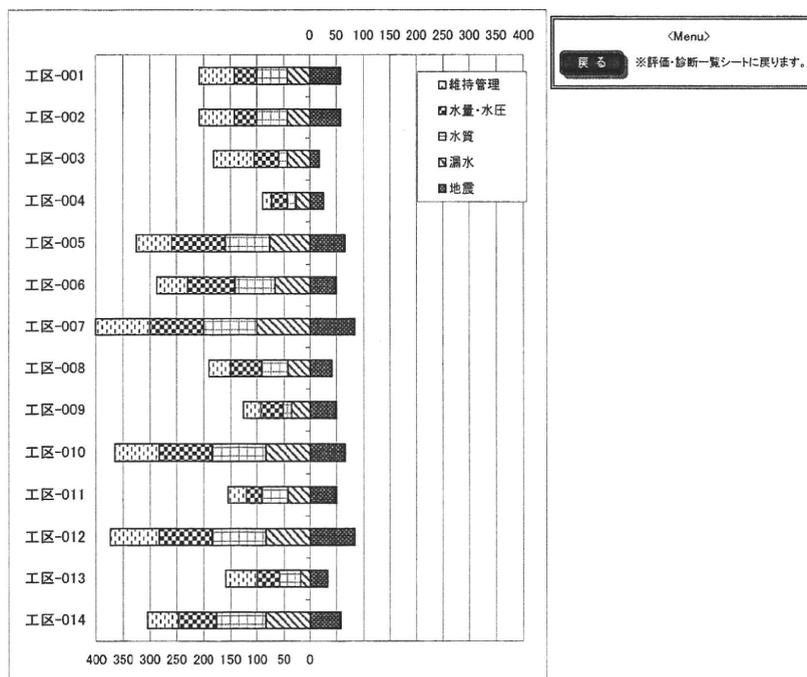
NO.001

診断開始 ※管路評価シート3を作成します。

操作手順

- ①「グラフ作成」をクリックします。  
※下のようなグラフが表示されます。

グラフ表示画面



グラフについて

上記グラフは初期設定でグラフサイズが固定されています。工区が多数になる場合は、手動でグラフサイズを変更してください。

#### 4. よくある質問

Q1：システム名を変更したい場合はどうするの？

A1：1-1③、1-2③、1-3③の「編集」ボタンをクリックし、変更したいシステム名を選択すると、編集用ボックス（図1）が表示されますので、システム名を入力し、「OK」ボタンをクリックするとデータベースのすべての入力結果が変更されます。

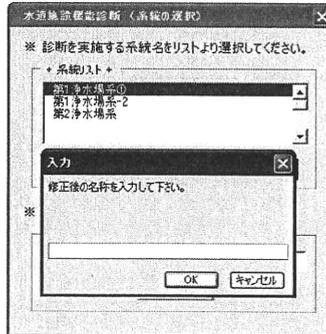


図1. 編集用ボックス

Q2：管路の工区の入力結果を管路評価準備シートや管路評価・診断一覧表から削除する場合はどうするの？

A2：管路評価準備シート及び管路評価・診断一覧表画面において、削除したい工区の入力結果の行を選択し、右クリックで削除を選択します。次に「上方向にシフト」を選択し、「OK」ボタン（図2）をクリックすると工区の入力結果が削除できます。

※必ず管路評価準備シート及び管路評価・診断一覧表画面の両画面で削除してください。

シート	系統名	管路形態	耐震性 判定点①	老朽度 判定点②	台帳No.	用途区分	管種	継手	口径	経過年数
工区-001	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-002	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-003	第1浄水場系①	埋設管	0	4	国道1号線-1	配水管	ACP	不明	300	30~40
工区-004	第1浄水場系①	埋設管	0	4	国道1号線-1	配水管	ACP	不明	300	30~40
工区-005	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-006	第1浄水場系①	埋設管	2	1	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-007	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	K形	300	10~20
工区-008	第1浄水場系①	埋設管	2	0	国道1号線-1	配水管	CIP	A形	300	10~20
工区-009	第1浄水場系①	埋設管	3	3	国道1号線-1	配水管	CIP	不明	300	10~20
工区-010	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	不明	300	10~20
工区-011	第1浄水場系①	埋設管	2	4	国道1号線-1	配水管	ACP	不明	300	10~20
工区-012	第1浄水場系①	埋設管	2	2	国道1号線-1	配水管	DCIP	不明	300	10~20

図2. 削除方法

Q3：設備評価準備シートや設備診断準備シートの設備や不具合を削除したい場合はどうするの？

A3：設備評価準備シートにおいては、Q2と同様に、削除したい設備の入力結果の行を選択し、右クリックで削除を選択します。次に「上方向にシフト」を選択し、「OK」ボタンをクリックすると設備の入力結果が削除できます。

設備診断準備シートにおいては、削除したい不具合の入力結果の行を選択し、Delで削除します（図3）。※このとき、不具合設備のNo.は削除しないでください。



図3. 削除方法

Q4：特別な事項等の選択が必須でない設問に間違っってクリックした場合はどう消せばいいの？

A4：特別な事項等の横に「Delete」ボタンがあるので、そのボタンをクリックします。  
※選択欄のセルの背面に数値が隠れているので、直接削除しても構いません。

Q5：本評価システムでグラフ化された情報等はどう活用すればいいの？

A5：グラフや一覧表の活用方法については、水道施設機能診断マニュアル「3.5 評価結果の集約」[100ページ～]を参照してください。

Q6：管路別機能診断で重み係数を変更したい場合はどうするの？

A6：管路別機能診断のシートに重み係数の表（図4）があるので、その表の値を変更して下さい。（3-2⑨）

重み係数

給水影響	老朽化影響	社会的影響	漏水影響	特殊事情
1.30	1.25	1.15	1.00	1.00

図4. 重み係数の表

Q7：間違った数値等を入力して、実行エラーが出た場合はどうするの？

A7：入力ミスによりエラーが出た場合、コメントボックス（図 5）が表示されますので、ボックス内の「終了」ボタンを押してください。

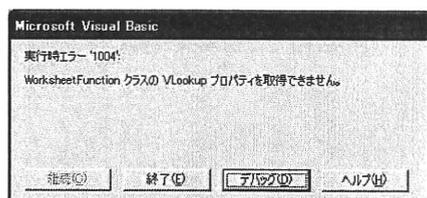


図 5. エラーコメントボックス

Q8：入力ミスや誤作動によりデータベースの入力結果を呼び出せなくなった。データの復元はできないの？

A8：ファイルを開くことができ、データベースに入力結果を登録している場合は入力結果を復元することができます。

手順 1：新しいファイルを作成し、下のシート情報をそれぞれコピーし、貼付けます。

「db1」：「全体機能評価（標準）」対応

「qdb1」：「全体機能評価（クイック）」対応

「db2」：「管路機能評価及び診断」対応

「db3」：「設備機能評価」対応

「db4」：「設備機能診断」対応

手順 2：登録済みであった系統名を新規に作成します。

（1-1③、1-2③、1-3③の新規系統の作成を使用）

ここまでの作業で全体機能評価の入力結果は呼び出し可能になります。

手順 3：登録済みであった管路を新規に作成します。

（1-2③～⑥までの作業を行い、準備シートの作成までを行います。）

ここまでの作業で管路機能評価・診断の入力結果は呼び出し可能になります。

手順 4：登録済みであった設備を新規に作成します。

（1-3③～⑥までの作業を行い、準備シートの作成までを行います。）

ここまでの作業で管路機能評価の入力結果は呼び出し可能になります。

手順 5：各設備のカルテシート-2A、2B を呼び出し、2B の入力結果をカルテシート-3 に移動させます。

（1-3⑦の操作手順③を行います。）

ここまでの作業で管路機能診断の入力結果は呼び出し可能になります。